

項	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	自己評価 (4点満点)	学校関係者からいただいた 評価・意見等	改善策 ※左欄(学校関係者からいただいた評価・ 意見等)を踏まえた改善策には、下線
心豊かに 神戸の子供を育む	いきいきに ここのびのび	主体的、対話的 で深い学びのある 授業の研究と実践 に取り組み、学力 の向上をめざす。	学び合い	主体的に関わり合えるような学び 合いの工夫。少人数⇒大人数	3	様々なスタイルで学ぶことで学力が定 着することを望む。	少人数での関りを多くとることはできたが、今後は 大勢の前でも話す機会を十分とっていく。
			授業改善	公開授業などで、指導力向上につなげた が、まだ十分ではない	2	一人一台のタブレットが導入されると いうことで期待値が高い。	タブレットの有効な活用の仕方につ いて検討が必要。
			基礎学力の定着	放課後学習モジュールやアプリなどを使った学 力の底上げを行っている途中である	3	モジュールによる時数確保のために、6校時授 業が増えるなか、子供たちは頑張っていた。	今後も個別に指導する時間をとる
		あいさつや清掃活 動に進んで取り組 むことで、自主性 の向上をめざす。	あいさつ運動	委員会などであいさつ運動を行った。あいさ つをする良い機会になったが、自分からは十 分にできていない。	2	もっとあいさつができるようになってほ しい。	大人も進んで挨拶することで、子供 たちにも徹底させていく。
			サイレント掃除	主体的に掃除ができるように各学年の具体的 な活動の取りまとめをし、共通理解を進めた。	3	できている子とそうでない子がいるはずなの で、引き続き達成できるように取り組んでもら いたい。	年度当初の学活などで、サイレント掃除の意味に ついてクラスで考える時間をとり、機会を見て振 返りが大切である。
			5分前行動	予鈴を鳴らすことで積極的に動くことができるよ うになったが、自分で判断することはまだまだ。	2	低学年の子たちは難しいとは思いが、自 分の判断で動ける子たちを育てたい。	チャイムだけでなく時計を見る習慣 をつけたい。
		誰に対しても思いや りの心を持ち、相手 の立場に立って親 切にする子供を育 てる。	道徳教育	学年内で、道徳的価値や教材、評価など について各学年で話し合った。	3	道徳心を育てる教育を目指してほ しい。	今後も道徳の授業を行っていく。
			異学年交流	地区ごとに縦割りで集まり、異学年交流を行っ た。また、ペア学年で遊ぶ集会を行った。普段 触れ合えない児童どうしが触れ合うことが できた。地区ごとの人数差が激しく、児童 を細かいところまで見きれなかった。	2	学年を超えた活動には、期待したい。	ペア学年の活動を多く取り入れ異 学年での交流をより深めていく。
安全・安心で 地域と共に築き、 楽しい学校を 支える		いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に 関する取組(いじめ問題対策委員会等)		全職員による日常的な児童の行動観察・相談体制お よび各学期に行った「いじめアンケート」による相談 体制の確立により、いじめの未然防止・早期発見を 目指した。	3	たくさんの目を見て早期発見を心が けていきたい。	報告、連絡、相談、を怠らず、全職員で子供たち 全員を見ていく雰囲気づくりを行っていく。
			超過勤務時間の削減	業務改善PJで業務の改善策を話し 合い、実践を行っている。	4	学校全体が業務改善に取り組んでい るということで、今後も見守りたい。	今後も業務改善PJを立ち上げ、業務 の精選行っていく。
			保護者との連携	懇談会は、保護者にとってもより有意義な会 になるように工夫した。ホームページを活用し た情報発信を心がけている。	3	今年度は仕方なかったが保護者の声 を聞く機会をもっともらえたらありがたい。	すぐるによる学校アンケートの活用や、今後も ホームページの更新により、学校の様子を随時 配信するようにする。
			OJT	ひよこの会(メンター、サブメンター、メンティーからな る3つの異学年グループ)で学級経営を中心に活動。 回覧板での情報交換をした。	4	先生方のつながりをさらに密にしま らいたい。	指導力向上のために、公開授業や、もっ ている知識などを使い研修を行っていく。